



自然史に関する標本など80万点もの資料が収蔵されています。

倉敷市立自然史博物館は1983年11月3日に開館しました。自然史とは、学校の理科では、生物・地学のことを指します。当館では、植物・昆虫・動物から、岩石・鉱物・化石の標本など約12000点の資料を展示して、岡山県をわかりやすく説明しています。生き物たちの実際の大きさ、色、形がどんな姿をしているのか、ネットや図鑑では見られない生き物たちの変異を本物の標本や精巧に作られた模型で立体的にみることができます。

施設のおすすめ

当館には、展示されていない標本を大切にしまっておく標本収蔵庫という特別な部屋があります。実は、展示されている標本は、収蔵されている標本のおよそ2%にすぎません。多くの標本は、カビや害虫の害から守るため、温度や湿度が管理された部屋に保管されています。標本のひとつひとつには、採集地、採取の時期、採取した人などを記載したデータラベルがつけられており、希少生物の保護、外来生物の拡散阻止などの重要な研究データとなります。予約すれば収蔵庫の中を案内することもできますので、各担当学芸員までお問い合わせください。

子どもたちへのメッセージ

自然に興味をもち、地元にある本物の持つ魅力を感じていただきたいと思います。標本は逃げることはありません。年中いつでもゆっくりと見ることができます。また、当館には地学、植物、昆虫、動物の分野を専門とした4人の学芸員がいるので、わからないことがあったらお気軽にご相談ください。



施設内の様子



ナウマンゾウの模型



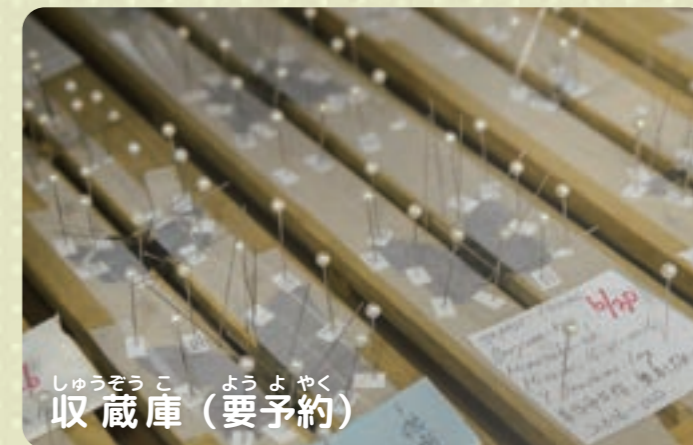
展示室「昆虫の世界」



展示室「昆虫の世界」



収蔵庫(要予約)



収蔵庫(要予約)



収蔵庫(要予約)